

神戸電鉄栗生線活性化協議会

平成21年11月26日設置

概要

神戸電鉄栗生線は少子高齢化、マイカーの普及、沿線道路網の整備等の影響により利用者の減少に歯止めがかからない状況にある。需要創出のため利用促進策や利便性向上策を他地域での先進事例等も含めて調査・分析、沿線観光資源の現状調査、沿線学校における通学の実態、校外学習等における栗生線の利用実態等を調査・分析し、ニーズにあったサービス改善等の施策を立案し、実施した場合の効果・収支等も分析する。



○地域公共交通の現況

- ・神戸電鉄栗生線 鈴蘭台駅～栗生駅間29.2km
輸送人員 平成4年度1,420万人→平成20年度729万人
- ・接続する路線 JR加古川線(栗生駅)と北条鉄道(栗生駅)

○地域公共交通の課題

- ・通勤、通学客の減少
- ・栗生線で多大な赤字を計上

○調査の主な内容

- ・利用促進、利便性向上のための施策等に関する調査
- ・沿線観光地の現状および観光客の移動状況調査
- ・沿線高校の通学調査および沿線小中学校等の野外学習等の実態調査
- ・沿線住民の参加による検討調査
- ・収支分析
- ・地域公共交通総合連携計画(素案)の作成

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・安全輸送継続のための鉄道施設整備(まくらぎのPC化)
- ・効果的な利用促進策の実施 等



安全輸送継続のための
鉄道施設整備(まくらぎのPC化)



鈴蘭台駅